

身を守れるのは自分だけ～交通災害から身を守る～

笠間市立友部中学校

落雷や地震などの自然災害とは違い、多くの交通災害は自分の心がけひとつで防ぐことができます。自分の身を守れるのは自分だけです。ルールやマナーを守り、みんなが安全で気持ちよく道路を通行できるようにしましょう。

基本的なことを知っておきましょう。

ちょっと、そのキミたち…

**交通ルールや
交通マナーを
知っていますか？**

身を守る3つのアイテム

○ヘルメット ○反射たすき ○ゆとり



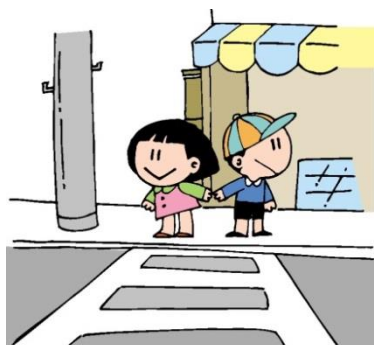
× 並列走行
× 二人乗り
迷惑行為
マナー違反



道路はみんなのもの 譲り合いは当たり前 譲られたら感謝(お礼を言う・会釈をする)
そんな“ゆとり”と“気持ち”がほしいものです。

ゆずり合える 心のゆとりを！

止まってくれたら笑顔で会釈(感謝)



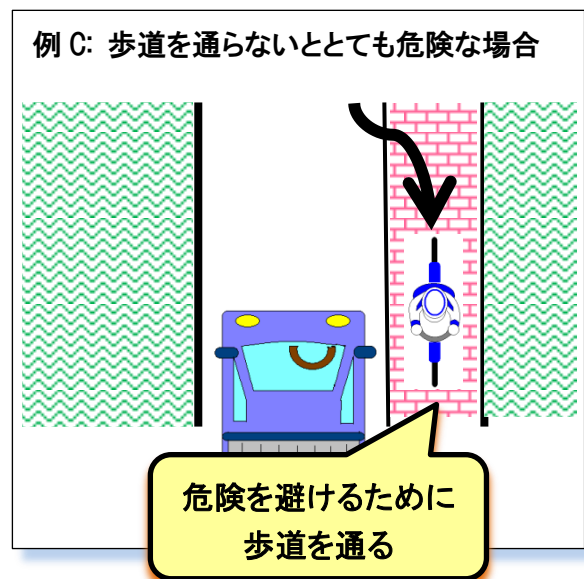
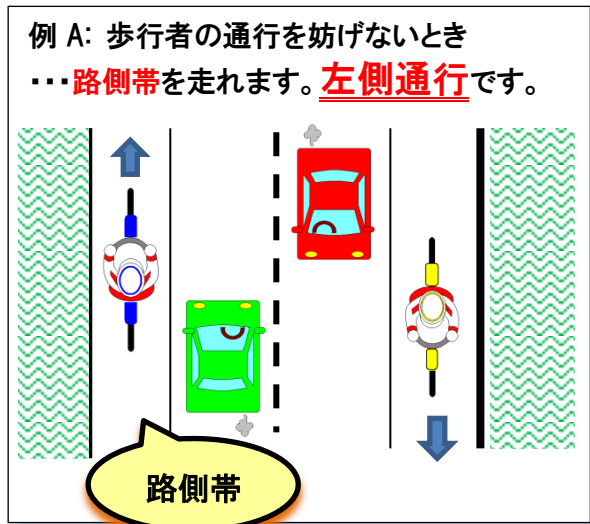
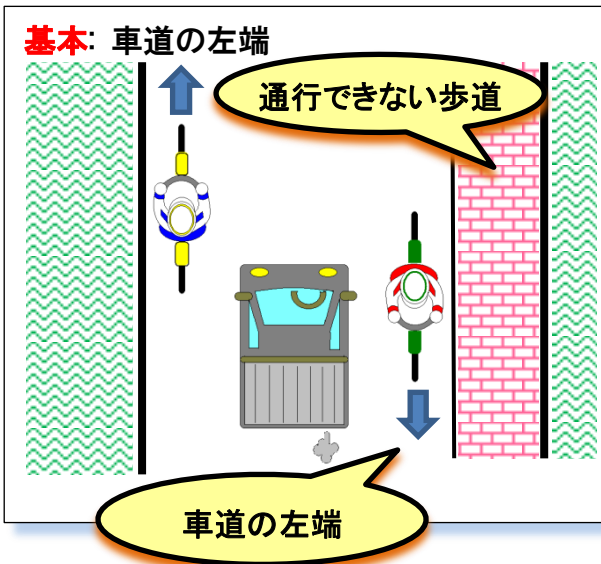
左右確認 信号確認 自分の目で！
自分を守れるのは自分

◎「止まってくれるだろう…」「来ないだろう…」「大丈夫だろう…」

「**だろう運転**」につながる「**だろう判断**」は、絶対やめましょう！

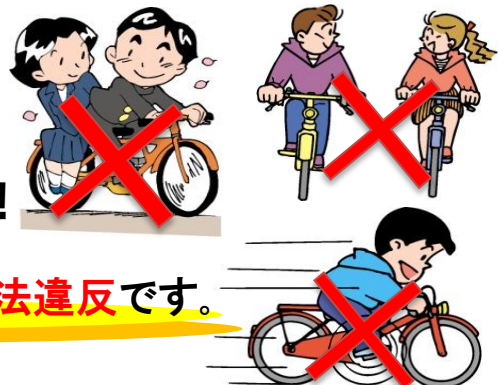
自転車はどこを走ればよいのでしょうか？

自転車は**軽車両**です。つまり車と同じあつかいなので、**車道の左端を通行**します。歩道や路側帯などは歩行者のためのものです。しかし、次のような場合は自転車も路側帯や歩道を利用できます。



※どんな時でも**歩行者優先！安全優先**です！

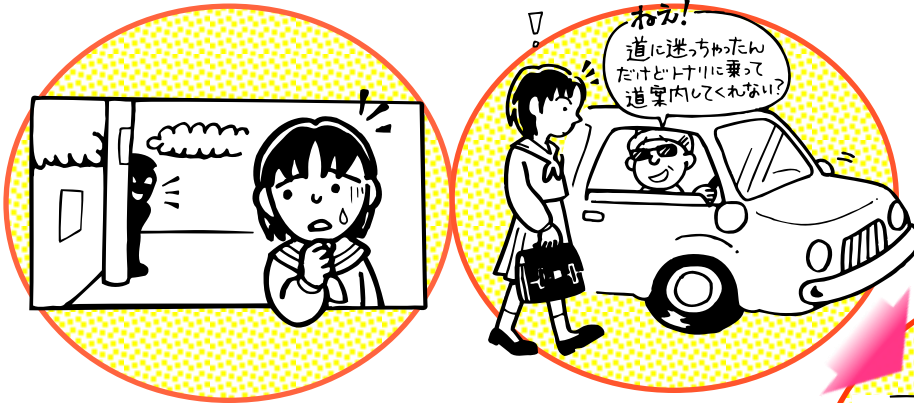
「二人乗り」「並進」「乱暴な運転」は道路交通法違反です。



まずは**逃げる**こと優先！

～不審者・変質者対応～

◇不審な車や人に追いかけられそうになったら…



不審な人の誘い対策

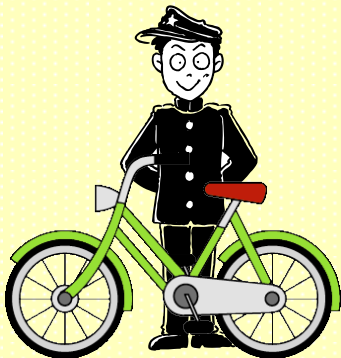
声をかけられたら…
 道を尋ねられたら…
 電話番号を聞かれたら…
 「すみません」の後に
 「わかりません」
 「知りません」
 「教えられません」

◇家に安全に帰ってから…



車のナンバーは、上の段より下の段「あ 11-11」が重要

もしも、止まって対応するときには…



- 必ず、**自転車から降りて**対応しよう。
(倒されたいしないように)
- 自転車を間に はさんで**対応しよう。
(いざというときは、自転車を相手側に倒して逃げる。)

予防のために

- ◇一人で帰らない。
- ◇決められた通学路を通る。
- ◇寄り道はしない。
- ◇「110番の家」を確認しておく。
- ◇学校に近い時は学校に戻る。

絶対に 誘いにのらない!

こんなときどうする？

～自然災害から身を守る～

笠間市立友部中学校



登下校の途中や家に一人にいるときに激しい地震や雷・竜巻に遭遇したらどうしますか？身を守るために自分が判断しなければならないときがあります。自分がいつ、どのような場所にいるかなど、その時の状況によってとるべき行動を判断しなければなりません、基本的なことを知っておきましょう。

正しい判断ができますか？

地震は 突然やってきます！

地震がおさまったら・・・

- 正しい情報で行動する。デマに惑わされない。
- 家族と待ち合わせる場所をあらかじめ決めておき、そこへ移動する。（家の中が危険な時）

地震

屋内では

- 丈夫なテーブル・机に身をかくし、頭を保護する。
- 火を消す（台所のコンロやストーブなど）。
- あわてて外へ出ない（落下物に注意）。周囲の状況をよく確かめてから避難する。



屋外では

- ブロック塀などから離れる。倒れやすいものや落下物から身を守る。

- 積乱雲が近づき、急に暗くなる。
- 冷たい風が吹き始める。
- 大粒の雨やひょうが降りだす。などの前触れに注意しよう！

雷

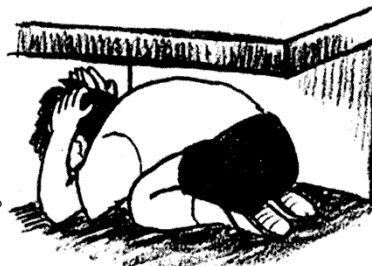
- 建築物や自動車の中へ避難する。
- 電柱・樹木など高いものに雷は落ちやすいので、4m以上離れる。
- 何も無い平地では姿勢を低くする。傘など長いものを持たない。



竜巻

屋内では

- 1階の窓のない部屋に移動する。
- 窓やカーテンを閉める。窓から離れる。（窓ガラスの周辺は危険）



屋外では

- 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくし頭を保護する。（物置や車庫、プレハブなどの仮設建築物は危険）
- 電柱や太い樹木であっても倒壊する危険がある。

とっさの時の判断力！

